

平成30年 死亡災害発生事例

平成30年確定

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
1	1月	13時	製造業 (金属製品製造業)	10～29人	集じん機の金属製ケーシングの製作中、同ケーシングの上でフランジのボルト穴を拡げる作業を行っていた被災者が約2.5メートル下の床に墜落したものの。	墜落・転落	作業床、歩み板
2	1月	9時	その他 (ビルメンテナンス業)	10～29人	病院の施設管理業務に従事していた被災者が、事務所から屋外のゴミ庫へゴミを持って歩いて行った直後、ゴミ庫の前の氷が張った地面の上で転倒したものの。	転倒	その他の環境等
3	2月	8時	製造業 (機械器具製造業)	50～99人	機械(約400kg)をフォークリフトで運搬し、トラックの荷台に載せる作業で、フォークリフトで同機械を持ち上げる途中にバランスを崩して同機械が落下し、付近にいた被災者がその下敷きになって死亡したものの。	飛来・落下	荷姿の物
4 ・ 5	2月	16時	製造業 (自動車整備業)	30～49人	給油車の整備点検作業に際し、当該車両装備のポンプの能力を点検するため、給油ホースをタンク上部のマンホールから挿入し、灯油とみられる液体を循環させていたところ、突然マンホール付近から火災が発生し、タンク上部でホースを保持していた2名及び車両後部で機器の操作と点検を行っていた2名が被災したものの。タンク上部でホースを保持していた2名が死亡したものの。	火災	引火性の物
6	2月	11時	製造業 (その他の製造業)	10～29人	フォークリフトで持ち上げていた貯水タンクが落下し、付近にいた被災者にぶつかったものの。	飛来・落下	その他の用具
7	2月	10時	農林業 (木材伐出業)	1～9人	樹木の伐採工事現場において、被災者は、木上部の幹や枝を伐採するため、高さ約6メートルの位置の幹に昇り、チェーンソーを用いて切断作業を行っていたところ、自ら切った木が被災者の箇所へ落ちてきて、自分がいた幹との間に挟まれて死亡したものの。	飛来・落下	立木等

平成30年 死亡災害発生事例

平成30年確定

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
8	2月	18時	その他 (産業廃棄物 処理業)	100~299人	工場敷地内を歩いていた、被災者が後退してきたフォークリフトにはねられ死亡したもの。	激突され	フォークリフト
9	3月	13時	陸上貨物運送 事業(一般貨物 自動車運送業)	10~29人	国道を南下していたトレーラーが、交差点の手前50メートル付近において、右折車線から対向車線の追越車線にはみ出たため、当該追越車線を北上していた被災者の運転するトラックに正面衝突した。被災者は頭部等を強く打ち死亡したもの。	交通事故 (道路)	トラック
10	4月	10時	建設業 (その他の建設 業)	10~29人	移動式クレーンの整備で、ブーム上のグリス穴にグリスを差すために、車体に設けられた地上から高さ2.7mの位置にあるステップを登っていたところ、足を滑らせ、墜落し、頭部を負傷し死亡したもの。	墜落、転落	移動式クレーン
11	4月	10時	建設業 (木造家屋建築 工事業)	1~9人	被災者は、アパートの解体現場において、約3メートルの高さにある鉄骨から飛び出た梁をバーナーで溶断するため、壁に梯子を立て掛けて登り作業していたところ、梯子から墜落し、死亡したもの。	墜落・転落	はしご等
12	4月	11時	その他 (測量業)	30~49人	地質調査機械を使用して一般住宅の増築に伴う地質調査を行っていたところ、被災者の雨合羽の襟が機械に巻き込まれ窒息死したもの。	はさまれ、 巻き込まれ	その他の一般 動力機械
13	4月	8時	その他 (卸売業)	1~9人	災害発生現場となった事業場において火災が発生し、設備に被害が生じたため、数日後被災者は別の電気工事業者と共に災害発生現場となった事業場を訪問し、打ち合わせ後に単独で設備の点検作業を行っていたが、翌日設備のタンク内で死亡している状態で発見されたもの。(一酸化炭素中毒)	その他 (有害物質との 接触)	可燃性のガス

平成30年 死亡災害発生事例

平成30年確定

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
14	5月	14時	建設業 (鉄骨・鉄筋建築工事業)	1～9人	鉄骨建て方作業中、仮止めしていた鉄骨の柱が根元から倒れた。この時、柱の上部にいた作業者が投げ出され、約20メートル下の地上に墜落、頭部を強打し死亡したものの。	墜落・転落	建築物、構築物
15	6月	9時	建設業 (その他の建築工事業)	1～9人	2階の窓を清掃するため、アルミ製伸縮はしごを昇っている途中、はしごから転落したものの。	墜落・転落	はしご等
16	6月	14時	建設業 (木造家屋建築工事業)	1～9人	木造2階建ての屋根修繕工事において、被災者が屋根上で作業を行っていた。休憩時間が近づいたため、被災者は屋根から降りたが、その約5分後に物音がしたため他の作業者が確認したところ、足場の昇降用に立てかけてある梯子の下で倒れている被災者を発見した。被災者は脳挫傷により死亡したものの。	墜落・転落	はしご等
17	6月	12時	建設業 (木造家屋建築工事業)	1～9人	住宅解体工事現場で廃材をトラックに積み、帰社する途上、車道において、走行中に助手席側後輪に絡まったレジャーシートを除去するべく、追越車線上にトラックを停車して、除去を作業行っていたところ、後続走行してきた自動車が追突し、はねられたもの。	交通事故 (道路)	トラック
18	6月	6時	建設業 (その他の建築工事業)	50～99人	工事現場から、事業場に戻るため社用車を運転中、道路で対向車線にはみ出し、対向車と衝突して死亡したものの。	交通事故 (道路)	乗用車
19	7月	18時	その他 (小売業)	1～9人	被災者は、建物外部にある浄化槽の清掃を行っていたところ、槽に溜まっていた汚水に頭から転落し、溺死したものの。	その他 (おぼれ)	構築物

平成30年 死亡災害発生事例

平成30年確定

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
20	7月	11時	建設業 (その他の土木 工事業)	10~29人	移動式クレーンに取り付けた杭抜用アタッチメントを折り畳む作業をしていたところ、クレーンに付属していた主巻きフック取付け用金具が破断し、杭抜用アタッチメントが振り子状に振れ、被災労働者に激突し死亡したものの。	激突され	解体用機械
21	7月	11時	農林業 (農業)	1~9人	河川の堤防の草刈作業中、川に転落し、溺れ死亡したものの。	おぼれ	水
22	7月	16時	陸上貨物運送 事業(一般貨物 自動車運送業)	1~9人	事業場の敷地内に停車していたタンクローリー(粉末状のセメントの運搬車)のタンク上部の蓋が空いているため、タンク内部を確認したところ、被災者が倒れているのが発見され、熱中症による死亡が確認されたものの。	その他 (高温の物との 接触(熱中症))	高温環境
23	8月	11時	その他 (その他の教育 研究業)	10~29人	被災者は子供向けツアーの引率中、水辺の岸で子供たちを撮影しようと、一人で待機していたところ、法面から落ちてきた丸太、もしくは石が頭部に直撃した。頭頸部多傷により死亡したものの。	飛来・落下	立木等
24	9月	7時	建設業 (道路建設工事 業)	1~9人	被災者は事業場敷地内でドラグショベルを自走させ、ダンプカーの荷台に積み込もうとしていたが、運転中ドラグショベルがバランスを崩して転落し、被災者は地面とドラグショベルのヘッドガードとの間に上半身を挟まれて死亡したものの。	墜落・転落	整地・運搬・積 み込み用機械 (ドラグショベル)
25	9月	13時	製造業 (機械器具製造 業)	10~29人	被災者は、金属棒を旋盤機に固定して最高速で回転させ、表面を削っていたが、金属棒が旋盤への固定部分で曲がり、本来の回転軸の軌道から大きく外れて回転したため、被災者の胸部から腹部にかけて激突し、死亡したものの。	激突され	金属材料

平成30年 死亡災害発生事例

平成30年確定

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
26	10月	22時	製造業 (非鉄金属精錬・圧延業)	300～999人	アルミニウム製品の熱処理を行う炉の内部の清掃を行うため、同炉の蓋を開け、移動はしごをかけて同炉の内部に降りた被災者が同移動はしごの下で倒れているところを同僚に発見され、翌日、死亡が確認されたもの。	有害物等との接触	有害物
27	10月	9時	その他 (その他の事業)	10～29人	被災者はヘルメットを装着し、同僚に脚立を支持させ脚立に上り、蛍光灯の交換を行おうとしたが、蛍光灯の金属製カバーを取り外したところ、カバーの重さに耐えられず地面に落とした反動で、被災者自身も頭から墜落し、死亡したものの。	墜落・転落	はしご等
28	10月	15時	その他 (新聞販売業)	10～29人	バイクで夕刊配達中に信号のない交差点を出て道路を横切ろうとしたところ、左から来た乗用車と衝突、全身を強く打って死亡したものの。	交通事故 (道路)	乗用車
29	11月	9時	農林業 (農業)	1～9人	被災者は、移動式クレーンのジブの先に取り付けられたカゴと呼ばれるアルミ製の搭乗設備に乗り、リモコンで操作しながら、木の剪定作業を行っていたが、カゴから地上に墜落し、死亡したものの。	墜落・転落	移動式クレーン
30	11月	21時	建設業 (電気通信工事業)	1～9人	空調機の給電ケーブルの敷設工事において、高さ2.6mの脚立に上がって天板にまたがる姿勢で、給電ケーブルを仮固定をしていた番線を解く作業をしていたところ、解かれた同ケーブルが落下したため、受け止める形となり、はずみで脚立上から墜落し死亡したものの。	墜落・転落	はしご等
31	11月	10時	その他 (ビルメンテナンス業)	10～29人	施設の清掃作業のため、脚立に上がっていた作業員がバランスを崩して、コンクリ床に墜落(高さ2m弱)した。頭部および肩を強打し、約1ヶ月後死亡したものの。	墜落・転落	はしご等

平成30年 死亡災害発生事例

平成30年確定

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
32	12月	10時	建設業 (その他の建築 工事業)	1~9人	ログハウス(平屋建て)の屋根葺き作業において、屋根端部から約2.9m下の地上に墜落し、頭部を強打しに死亡したものの。	墜落・転落	屋根
33	12月	12時	製造業 (その他の金属 製品製造業)	1~9人	自動車で東北方面の出張中、路上がシャーベット状で滑りやすい状況にあったため、スリップして対向車線にはみ出し、対向車線を走行していたタンクローリーに正面衝突し、死亡したものの。	交通事故 (道路)	乗用車
34	12月	10時	建設業 (橋梁建設工事業)	10~29人	橋梁の撤去工事現場において、ダンプカーの荷台を上げ、土砂を降ろした後、撤去予定の橋桁の下方を通過しようとした際、ダンプカーの荷台が上がったままであったため、荷台が橋桁に激突した後、橋桁がダンプカーの運転席に落下し、運転していた被災者が死亡したものの。	激突	トラック
35	12月	15時	製造業 (その他の金属 製品製造業)	1~9人	工場内において、直立ボール盤の主軸に作業服の襟とエプロンが巻き込まれて、被災労働者の首が絞まり、窒息し、死亡したものの。	はさまれ、 巻き込まれ	ボール盤
36	12月	10時	その他 (畜産業)	1~9人	ドラグ・ショベル(移動式クレーン仕様)を用いてつり上げた鋼製型枠の束(質量約500kg)をトラックの荷台下ろす作業において、玉掛けに使用したチェーンが切断して荷が崩れ、その下にいた被災者が荷の下敷きになり死亡したものの。	飛来、落下	玉掛用具